

「勇み立つ」 —先週の講壇より—

「パウロは彼らに会って、神に感謝し勇み立った。」使徒28:15【口語訳】

日本では、毎年流行した言葉に対して「流行語大賞」が送られます。日本を離れて長くなりますと、浦島太郎といえますか何といえますか、「これが流行語ですよ」と言われましても、ぜんぜんピンとこないわけです。しかしながら、ノミネートされた30語の中に、理解できる言葉を見つけました。それは「4年ぶり」という言葉です。コロナ禍で様々なことが制限され、ようやく今年になって元に戻りつつあるということ。野球などスポーツの応援も声を出しているし、コンサートで騒いでもいい、4年ぶりの解放感を味わった2023年だったと、こういうことです。

誰もが交わりを求めていたということ、それがコロナ禍ではっきりとしたと言ってよいでしょう。クリスチャンにとっても、励ましや交わりは必要不可欠です。そしてそれは、教会にて、そしてイエス様であって与えられるのだと、聖書はそのように示しています。パウロもローマという大帝国を前にして、大いにイエス様からの励ましを与えられ、そして勇み立っていったのでした。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2023年12月3日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827-6244 nobu@occc.org
4872 Bishop St, Cypress, CA 90630
Facebook: オレンジ郡キリスト教会
ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「私はこの岩の上に私の教会を建てよう。陰府の門もこれに打ち勝つことはない。私はあなたに天の国の鍵を授ける。」

マタイ16:18, 19

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈祷会 : (水) 18:30-

